

教師同士のチームワークが 今ひとつよくありません…

チーム力
向上には、
**日常連携と
システム連携**
が大事!



Dr.諸富の 元気になる! 悩み相談

【回答者】

諸富祥彦(もろとみよしひこ)先生：
明治大学文学部教授、臨床心理士、教育学博士。
全国の悩める教師のためのセルフヘルピングや
ネットワーキングを支援する“教師を支える会”代表。
<http://morotomi.net/>

高校の先生から、よく相談される内容です。特に、従順な生徒が多く、大きな問題が起これっていない学校の場合、教師全員が一丸となって対処しなくてはいけない場面に直面していないので、教師同士がバラバラになりがちです。しかし、問題のない生徒がいないクラスなんてありません。そういう生徒への対処の仕方が、苦手な先生だっています。先生同士の連携がとれていて情報が共有されていれば、そういう生徒への対処でも、早期に協力し合えます。つまり、先生同士のチームワークが悪くて被害を被るのは、生徒なんです。

チームワーク力を上げるには、「日常連携」と「システム連携」の2つが重要です。

「日常連携」とは、いわゆる日頃からのコミュニケーション。一緒にお茶するとか、食事するとか、飲みにケーションをするとか。実際、「飲みにケーション」をよくしている先生のほうが、生徒への対処の仕方をたくさん出せるという研究結果もあります。あの手、この手を、日常的な会話のなかで得ている。それだけ情報交

換が大事だということです。

ただ、日常連携だけでは先生同士のつながりが偏るなど限界があります。そこで、重要なのが、「システム連携」です。教師も組織の中で仕事をする一員です。ですから、情報が共有できる仕組みを作って、連携を図っていくのは、当然の責務です。本来は、学校全体でコーディネーターを設け、しっかりシステムとして情報交換などを行い連携していくことが必要です。例えば、教育相談コーディネーターが各学年の教育相談係ときちんと生徒の情報共有ができるようにするのです。まずは学年会などで「最近気になる生徒の話を、皆さんでみましょう」と提案していいかがでしょうか。危機意識をもつ先生同士から、少しずつ声を出していけば、必ず変化していけると思います。高校の場合、このシステム連携ができていない学校と、できていない学校の差が激しいのは事実です。ぜひ、システム連携をしっかりと、問題を抱えた生徒のとりこぼしのない生徒指導を目指してください。